

大橋よしひさレポート 第59号

あなたと町の大きな架け橋に！

発行元：大橋よしひさ後援会

所在地：杉戸町内田 3-9-5 電話：34-7392

e-mail：yoshihisa.ohashi.sugito@hotmail.com



H P



facebook



ブログ



twitter



東武動物公園駅東口通り線の道路拡幅の現状は！？

旧杉小跡地では4月に杉戸中央みちのこ保育園(定員90名)が開園し、また、来春の開館に向け複合施設(コミュニティセンター・子育て支援センター等)の建設工事が始まっています。そして、東武動物公園駅東口通り線の拡幅事業も目に見えて進んでいるのがわかるようになりました。今号ではみなさんの関心も高い駅前通り拡幅事業を掘り下げます。



そもそもどのような計画なの？

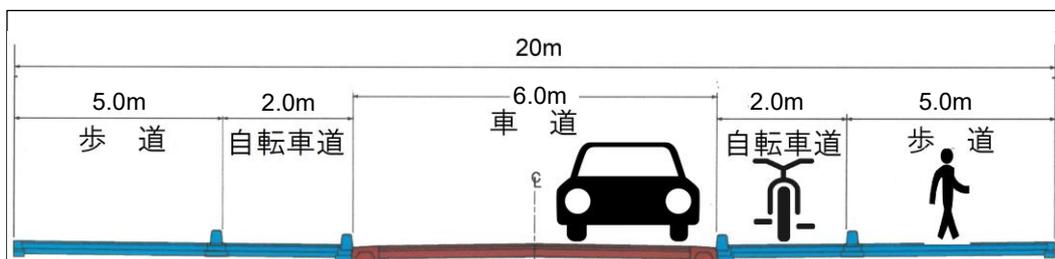
区間は、東武動物公園駅前広場から旧ベルクス前の押しボタン式信号の交差点までです。

下図②③区間は街路事業という手法で事業が行われ、④区域は沿道整備街路事業という手法で行われます。ちなみに、沿道整備街路事業という手法で行うのは埼玉県初となります。その先の国道4号線までの工事予定は今のところありません。



どういう道路になるの？

下の図のような道幅が20mの広い道路になり、電線も地中化され無電柱化となります。また、現在、広い歩道の空間を利用した賑わい事業を模索しています。



橋は新たに歩行者用の橋が脇に架けられ、車は現在の橋(古川橋)を利用します。





現在の状況は？

今年3月末までに、面積ベースで**全体の約7割の土地の買収が完了**しました。
今年度以降も引き続き**土地の買収**などを続ける予定です。



完成するのはいつ？

当初の予定(事業認可期間)では、
図①(東武動物公園駅前広場)は**今年度末に**、
図②③(古川橋から本陣跡交差点まで)は**来年度末に**、
図④(本陣跡交差点から押しボタン信号)は**昨年度末に完成予定**でした。
しかしながら、**残る土地の買収や新たな歩行者用の橋の新設を行うため、
期間を延長する必要がある、現時点では見通しが立っていないというのが実情です。**
それでも一日も早く完成させるために、
買収が完了した箇所から随時工事を行います。
下図は完成イメージ図です。



↑ [古川橋付近]
[東口通り線を4号線方面から] →



事業費、町の負担は？いくらくらいかかるの？

図①の区間は**宮代町が主体で事業**を行います。杉戸町は協力金として**宮代町負担分**(総事業費から国費を差し引いた金額)の**2割**にあたる**約1.7億円**を負担します。
図②④の区間は**県が主体で事業**を行います。杉戸町は事業費約26億円のうち、同じく国費を差し引いた金額の**2割**にあたる**約2.5億円**を負担します。
図③の区間は**杉戸町が主体で事業**を行います。約**6億円**かかりますが、**国からの補助**が出るので、杉戸町の負担は**約3億円**になる見込みです。
したがって、この事業における**町の負担は計約7.2億円**となると計算されています。



大橋よしひさプロフィール 1980年12月生まれ(42歳)

経歴：杉戸町生 / 杉中 / 越谷北高校 / 明治大学経営学部 卒 / 学習塾勤務を経て学習塾「向学館」創業
杉戸町議会議員(3期) / 現在、副議長 / 消防団第2分団所属 / 障がい者スポーツ指導員
すぎスポ理事 / 杉戸町商工会在籍 / げんき SUGI 体操サポーター / 明日の担い手農業育成塾塾生
家族：妻と子ども(5歳) 趣味：旅(電車)、将棋 最新情報は twitter など！

